

報 告

静岡水彩畫展覽會

三月二日から六日まで五日間展覽會を開くと云ふことに付ては、殆んど三四週間あちこちして漸く開くといふ運になつた無論大下先生の御助力が預て力ありしことは云ふまでもないことであり、會場などの都合も比較的光線の具合もいゝ新築の建物を全部使用することの出來たのは、主催者にとつて最も欣喜に堪へないことである。入場料のこともいゝの都合があつて、結極無料で見せるといふことになつたのはこれも一般の觀覽者の爲欣ばしいことと云はねばならぬ。兎に角三百點近い作品、然も水彩畫のみを陳列し得たといふことは、地方として吾東都の會でもかやうなことは先づ空前のことと思はれる。一日にはわざわざ東京から大下先生の御來岡を得て、陳列方法など万端のことを統べられて、豫定通り二日午前九時に開場することになつた。それから六日まで五日間、天氣都合もよかつたし、毎日數百の觀覽者を得て、兎に角學者には多大の参考となり、素人にあつても恐らくかゝる異彩の繪畫に逢着して清新なる興味を得たことと思はれる、兎に角當地の紳士連をして、初めて水彩畫なるものを視たるもの、名のみを聞て其實を知らざる人々を動かして、十數點の賣約を得せしめたのは、必ず從來屢々地方に行はる愚劣なる日本畫會に嫌たらぬ所故でもあり、又時運の然らしむる處でもあつたらう。尙五日の土曜日から六日の

日曜へかけては、遠江又は伊豆の遠くより、わざわざ展覽會觀覽の爲來られし職員などのあつたことを思ふと、此の催も決して徒爾なものでなかつたと思はれる。殊に、當地の師範學校生徒職員及び、中學校一部の人々には、最も多大の注意を以て趣味と實益との効果を頌ち得たことは、最も満足に思ふところである。五日間の會期中、殆ど連日觀覽して、數時間繪畫の前に佇立し、然も飽くことを知らざる人々の多々ありしをみても明かである。又當市五六の新聞紙は、會期前より數回本會の催に付て、種々の報告批評等を得たことも感謝せねばならないし、本縣知事も再度まで來觀せられ、大に主催者の勞を賞せられしは深く感銘するところである。尙又、六日午後には東宮殿下御西行に際し、當地御用邸へ御一泊の際は、御興覽の爲特に數十葉の逸品を差出す様との内命を得、本會の名譽此上なく恐懼御受致せし次第なるも、遂に殿下御不例の爲御西行御沙汰止のこととなり、其儀に至らざりしは乍恐遺憾とするところである。殊に來觀者は、かゝる絢爛たる色彩に對して、自己が腦中の美なる琴線の享樂に振れて、たゞ讚嘆の聲と憧憬の念を發せしめ、展覽品に對して尊敬を拂ひ、會場の取締不充なりしに拘はらず、一の破損紛失等なかしは、如何に此會の高雅なる趣味の上に立つことを知らしむるものであると思ふ。或は又最も滑稽なりしは某高等官屬と稱する人の來觀を得し時此人繪畫をみるに一々理窟を以て解さんとし一々一畫を指さして小理窟を述べられしには、説明者をして少なからず困却せしめ、尙今後の繪畫

發展上、水彩畫の如きは時勢上よりみるも風土上よりみるも、今後大に進步發達すべきものなることを述べしに、一言のもとに、宗教家にしても、自己の宗旨を揚げ他宗をくさすは、何れも通弊とするところであるとの盲斷を得しには、益々説明者をして再び云ふことを得ざらしめたのである。美術を談するに、尙行政司法のその如く解さんとする徒輩の、尙かゝる地位ある人々の中に多きを慨嘆せずには居られない。然しそれもこれも多くの人々を相手にすることである故致し方もないことである。兎に角、静岡の水彩畫展覽會は、大略こんな具合に芽出度き終りを告げたのである。(畔川記)

幽 會 々 則

一 本會を關幽會と名づけ洋畫研究を以て目的とす
 一 本會は大阪府三島郡高槻尋常小學校内に設置す
 一 本會の趣旨を賛成するものは何人と雖會員たる事を得
 一 本會々員は自然を愛好し眞面目に斯道を研究する者たらざる可からず
 一 本會々員を普通會員賛助會員に分つ普通會員は相互に技術を研磨し其目的を達するものとす
 賛助會員は本會の趣旨を賛し會費を納むる義務あるものとす
 一 本會は左の役員を設け會務を整理するものとす
 幹事三名委員若干名
 一 本會々員は毎月會費として金五錢を納付するものとす
 但會費は美術雜誌及參考品の購入と通信費とに宛つ
 一 本會は毎月二回寫生會を開く
 但毎月第一土曜及第三の土曜と定め寫生すべき位置は其都度通知するものとす

本會は毎年壹回會員の作品を集め展覽會を開催し又寫生旅行をなすことあるべし
 附則一 本會則は出席會員三分の二以上の決議を以て變更することあるべし

日本水彩畫會新會友

静岡縣安部郡大谷村	島崎清
大阪市東區北濱四ノ五	松代安太郎
香川縣大川郡長尾小學校内	三好芳子
長野縣上諏訪町片羽	立木定安
福岡縣鞍手郡勝野村御徳海軍炭山	爪生養次郎
静岡縣田方郡韭山村韭山	柏木俊一
佐賀縣立有田工業學校	南里順生
福島縣岩瀨郡濱田村濱尾	大峰眞一郎
新潟縣三島郡西越村小木	安達福次
福島縣岩瀨郡濱田小學校内	古川法信
青森市新町二十二	藤野貞一
千葉縣北條町八幡	伊達重雄
山口縣山口町中讃井十二	横道卯吉
静岡縣富士郡大宮町	池谷佐一郎
福岡市外警固村私立筑紫高等女學校内	池澤成文